



学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和2年12月3日
No.23

持久走記録会

応援 ありがとうございます…

12月2日(水)、朝は、今年一番の冷え込みとなりましたが、子どもたちが走るころには、風もなく気温も上がり、絶好のコンディション。出発前の子どもたちは「緊張するけど頑張る」と、気合十分でした。

平日にもかかわらず、たくさんの保護者・地域の皆様にお越しいただき、子どもたちは温かい応援に後押しされながら力いっぱい走りました。応援席から「がんばれー!」「ファイト!」「その調子」などの声援をいただき、お家の方の前を走る時には、急にスピードを上げる1年生の子もいました。走り終えるまで温かく見守っていただき、ありがとうございました。

子どもたちは、クラスの仲間と一緒に走ることで、お互いに競い合うだけでなく、励まし合い支え合う関係ができていたと感じました。一人ひとりが、自分の目標に少しでも近づくことができるよう、最後まであきらめることなくベストを尽くすことができました。

走り終わった子どもたちは、どの子も達成感で、すがすがしい顔をしていました。また一つ、しおはまっ子の成長する姿を見ることができうれしく思っています。



【 走り終わった後、来てくださったお家の方々にお礼を言いました・・・ 】

～素敵な音楽をありがとう～



感染症対策のために開催を見合わせた三泗音楽会に代わり、校内音楽会を6年生が中心となって開催しました。

司会進行、曲紹介、会場準備もすべて子どもたちが行いました。この日の発表のために、5年生も6年生も、音楽の授業だけでなく、休み時間も友達同士誘い合って音楽室へ行き練習をしていました。子どもたちが練習に一生懸命取り組む姿はとても素敵でした。

今年初めて文化会館のステージに上がるはずだった5年生。とても緊張していました。手や足が震えていた子もたくさんいたそうです。でも、とっても力強い歌声を聴かせてくれました。

6年生は、やはり最高学年としての貫禄がありました。「リコーダーの音って、こんなにきれいだったんだ～」と改めて気づかされました。合唱は、去年の卒業式で在校生代表として歌うはずだった歌だそうです。きれいなハーモニーで気持ちが伝わってきました。

5・6年生の演奏を会場で聴かせてもらっていた4年生からは、自分たちも先輩たちのように素晴らしい演奏ができるようになりたいという感想が出されました。



【6年生】



【5年生】

6年生は一人一役でピアノ演奏、パートリーダー、司会、楽器係、曲紹介、会場準備、プログラム作りをしました。去年の6年生を送る会運営の経験も活かして、ほとんどの作業を自分たちで考えながら行い、自分たちの力で校内音楽会を成功させることができました。

1年道徳 「ぼくにも あるかな」 (研究授業)

ちゅうたの友達ちよろすけは、「元気にあいさつができる子」、はつかは、「人の荷物を持ってあげる優しい子」です。ちゅうたは、二人の友達のよさに気づくことはできるのですが、自分のよさには気づくことができず、悩んでいます。ちゅうたが悩んでいる様子に気づいた父は、「悩んだり考えたりすることは大切なことだ」、母は、「よいところがない子はいない」と言ってちゅうたを励まします。それを聞いて、ちゅうたは「自分にもよいところがある」ことに気づき、元気になっていくというお話です。学習後、1年生の子どもたちは、友だちのよいところを見つけ、お互いに伝え合いました。ただ、自分のよいところは、なかなか見つけることができなかつた子もいたようです。



もし、お子さんのよいところを5つ挙げてくださいますと言われたら・・・すぐに挙げられますか？よく「うちの子に気になるところはいくつもあるけれど、褒めることは何も見つからないです」と言われる保護者の方がみえますが、本当にそうでしょうか。もしかしたら、それは、「わが子にしっかりとしてもらいたい」という思いの裏返しからかもしれません。でも、それは逆効果です。きっと、お子さんは、お父さんやお母さんに褒めてもらいたいと思っているはずですよ。どうぞ、1日1つ。お子さんに元気の出る言葉をかけてあげてください。きっと、お子さんはもっと褒められたいと頑張るはずですよ。そして、お家の方々も三日坊主で終わらずに、ずっと続けていただくことが大切だと思います。よろしくお祈りします。